

公開授業（分野）： ビジュアルコミュニケーションデザイン基礎Ⅳ （共通科目） / 専門科目

対象学年（履修区分）： 3年次 （必修） / 選択必修

公開日時：平成 28 年 11 月 21 日（月）○限 1,2 限

■公開した授業の当該科目全体における位置づけ・進め方や工夫した点

この授業は「地域のブランディングデザイン」をテーマとした、ビジュアルコミュニケーションデザインコース3年を対象にした30回の授業です。公開したのは導入で、基本的なブランディングデザインの考え方のレクチャーが中心で、科目全体では、選んだ地域のリサーチ→問題解決のための企画立案→キービジュアルの作成→アイテムへのデザイン展開→プレゼン用ボードの制作→プレゼンテーションまでを課題としました。

今回公開した授業の進め方や工夫した点は

- ・「地域をテーマに」と話すと、堅くてあまり面白くないと思われがちなので、実際に行われているユニークな企画や斬新なデザインの作例を幅広く見せて「地域がテーマで面白い企画やデザインがこんなにあるんだよ。こんな企画があったら素敵だなと思うものを自由に考えてごらん」と話し、学生自身が興味のある分野に近づけて面白がって制作出来るようにしました。
- ・教室に数多くの実例が掲載されている参考図書やいろいろなリーフレットの実物を置いて（特にリーフレットは実物を見ないと、文字のサイズ感や紙の折り方などが分かりにくいので）実践で通用する本格的な仕上がりになるよう、制作の助けをしました。プロのレベルを実感させることも考慮しました。
- ・途中段階の全員のデザインを常に壁に貼って、卒業後に学生たちの多くが勤めることになるデザインプロダクションで、あたかも仕事しているかのような環境を作り、プロ意識を煽ってその気になってもらいました。
- ・「実践である」こと自覚してもらうために、プロの視点から現実的なアドバイスをするようにしました。

この課題は、かなり以前から実施されており、その時代の流行、生活環境の変化、印刷技術の進歩などと密接な関係のある分野なので、時代とともに少しずつ改善を加えています。ただブランディングデザインの考え方そのものは大きく変わらないので、授業全体の組み立ての構造は変える必要はないと考えています。他の課題と比べて、比較的製作期間が長くて制作物の多い課題のため、前半はじっくり、後半はバタバタあわてて制作することになりがちなのですが、複数のデザインを同時進行する場合の進め方の技術を具体的に指導しています。プレゼンテーションでは、就職活動が始まっているので、外部のクライアント（この仕事を発注した客）に話すことに設定して、現場での実践さながらの内容にしました。（下：学生作品）

